

人権だより

(令和7年度 6月号)

川之石高校人権委員会 担当 3年次2組

今月は、6月13日(金)の6限目に実施された、1学期人権・同和教育ホームルーム活動について報告します。各年次のテーマにそってクラスごとに学び、意見交換を行い、考えを深めました。

【1年次のテーマ】 よりよい人関係をつくろう

1年次 人権委員

私たちのクラスでは、より良い人間関係を作ろうというテーマで学習しました。クラスで行った人権感覚に関するアンケートを基に班で話し合いをしました。自己理解・他者理解がよりよい人間関係をつくることにつながると思いました。普段から自己理解や他者理解を深めるようにしていきたいです。



1年次 人権委員

今回のホームルーム活動は、自分を見直してさらに友達の良いところを見つけて伝えるものでした。この活動を行って感じたことは、声に出して相手に思ったことを伝えることが大切だと思いました。思っているだけでは相手に伝わりません。すぐに実践するのは難しいかもしれませんが、少しずつ取り組みたいと思います。



【2年次のテーマ】 解放への歩みⅠ ～部落差別の起こり～

2年次 人権委員

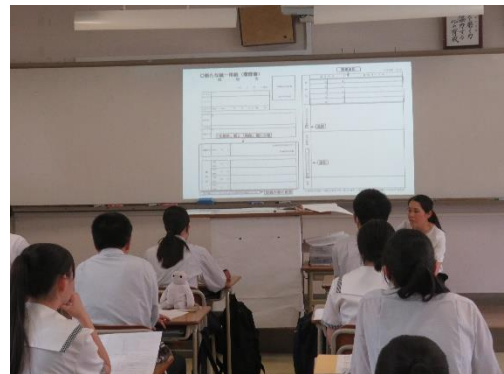
今回の授業で、部落差別の起こりについて学びました。自分とどこかが違う人に対して何を思うのかという質問に対して、私は特に何も思わないと考えていました。グループでの話し合いの中で自分がその人の立場に立って考えることが大切だという意見があり私の意見は安易な考えだったと思いました。今回の授業で驚いたことは、能や医学の発展に尽力した人が差別されていたことです。自分とは違うからといって差別をするのは、いけないことだと思いました。

2年次 人権委員

1年次の復習で、偏見や差別で他人を見下したり、他人に振り回されたりするのはいけないことだと改めて思いました。差別をなくすためには、差別は今もあることを認識し、正しい知識を身に付けることが必要だと思いました。強まっていった差別に対して差別を受けた人が戦おうと思い、行動したことがすごいと思いました。



【3年次のテーマ】 解放への取組Ⅰ ～公正な採用選考に向けて～



3年次 人権委員

公平な採用選考に向けて、本人の能力、意見を見極められての採用選考ではないのはおかしいことであると思いました。差別につながる恐れのある質問には「答えない」「書かない」「提出しない」という3つの要素が大切だと思いました。差別に立ち向かうには勇気が必要で行動に移すことが大切だと学びました。私が面接に臨む時は毅然とした態度で面接に臨み、差別につながる質問には答えない勇気を持ちたいと思います。

3年次 人権委員

就職差別につながる質問をしている会社が昨年度愛媛県内の高校生の就職試験で11社もあることに驚きました。尊敬する人物や、家族構成なども就職差別に結び付くことは、知りませんでした。本人の能力や適性、意欲で判断せず、家族の職業や出身地で判断する会社があることにも驚きました。もし、自分が実際に面接で就職差別につながる質問をされたときには、見抜けるようにしたいです。